

※2021年4月1日より

NTT東日本札幌病院
臨床検査科

アルカリホスファターゼ、乳酸脱水素酵素

◎ALP、LDの測定方法変更

■ ALPは測定値が旧測定法の約1/3になります。

旧測定法	→	新測定法
106～322U/L		38～113U/L

■ LDは測定値、共用基準範囲ともに変わりません。

日本国内のALP、LDの測定方法が世界的に普及している方法に変わります。
これにより、日本国内の測定値は各国の測定値と互換性を持つことになり、検査のグローバル化が進みます。

◎甲状腺刺激ホルモン(TSH)値の標準化

■ TSH(実測値) × 1.09 = IFCC基準値適合検査値 になります。

実測値TSH	→	共用基準範囲 (IFCC)
0.35～4.94mIU/L		0.61～4.23mIU/L

国際臨床化学連合 (IFCC) 甲状腺機能検査標準化委員会 (C-STFT) では全世界13社の試薬メーカーのキット間差を解消する取り組みを始め、当院の測定キットの補正係数は乗数1.09と算出されました。

旧測定法：JSCC法 (JSCC:日本臨床化学会)
新測定法：IFCC法 (IFCC:国際臨床化学連合)